

環境省

平成21年度カーボンオフセットモデル事業計画設計調査

『製品の製造に伴い工場で発生するCO2を  
カーボンオフセットした「CarbonZero」プリンタ事業』  
最終報告会資料

2010/3/25

- ・(株)沖データ
- ・CO2balance Group Limited
- ・(株)サティスファクトリーインターナショナル

# OKIデータ 会社概要

- 名称 株式会社沖データ (Oki Data Corporation)
- 設立 1994年10月1日(沖電気工業より分社)
- 資本金 190億円 沖電気工業100%出資
- 従業員 約5,500名
- 売上高 連結1,616億円(2008年度)



ワールドワイドにプリンタ事業を展開

# カーボンオフセットを行った背景

## 従来のCO2削減活動

### ➤ 事業活動のCO2削減:

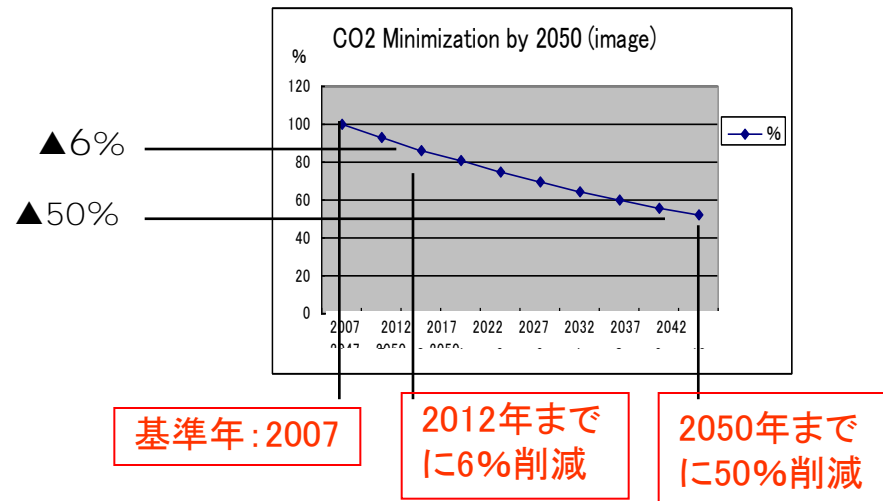
- ・生産プロセス改革による削減
- ・工場設備改善による削減
- ・照明や空調の改善、最適化
- ・グリーン電力の使用(ヨーロッパ)

### ➤ 環境配慮型商品の創出:

- ・プリンタの消費電力低減  
ex) 新製品C610dn/C711dn 待機消費電力 約1/20化(従来製品比)
- ・5年間無償保証モデル

### ➤ 環境保全活動:

- ・10年以上前から、フィジー、英国、タイ、マレーシアなどで植林活動実施



## 更なるCO2削減活動として生産工場のカーボンオフセットを選択

- ・世界全体を考えた、効率の高いCO2削減活動
- ・ブランドイメージの向上
- ・発展途上国の生活環境の向上にも貢献

# CO2排出量の算定

## 方法

電力使用

天然ガス使用

灯油使用

重油使用

LPG使用

廃棄物処理

出張

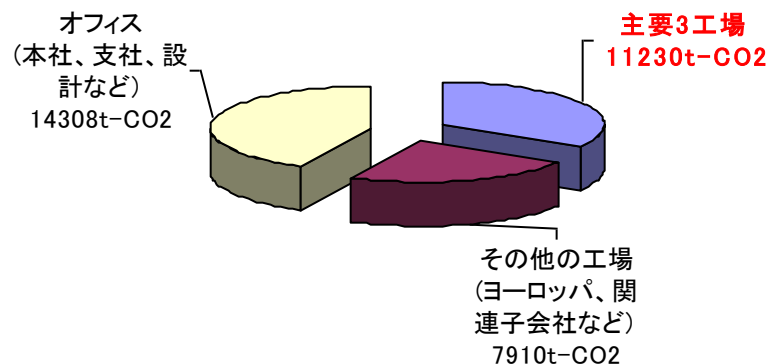
社有車の燃料使用

等

- ・2007年度の生産活動での電力、燃料等の使用量を調査しCO2排出量を算出(製品の運輸、通勤は除外)
- ・WBCSD/WRIガイドラインに従って算定
- ・ワールドワイド 45のオフィスと6つの工場を調査
- ・客観性を担保する為に算定業務は、イギリスのCamco社に委託

## 結果

OKIデータグループ全体の事業活動に伴う温室効果ガス排出量 ⇒ **32,472 tCO2**



主要3工場の排出量 **11,230t-CO2**  
**(全体の34%)をオフセット**

福島工場 (日本) : 1,756 t-CO2  
アユタヤ工場 (タイ) : 4,710 t-CO2  
深セン工場 (中国) : 4,764 t-CO2

# オフセット対象工場の削減努力

## OKIデータ福島工場(日本)

2007年度排出量: 1,756 tCO<sub>2</sub>



## CO<sub>2</sub>削減施策

- ・照明設備、断熱施策による電力削減
- ・手洗い用温水の温度調整による燃料削減
- ・省エネ型設備の導入
- ・生産納期改善、消耗品物流改善

## ODMT アユタヤ工場(タイ)

2007年度排出量: 4,710 tCO<sub>2</sub>



- ・作業効率を落とさずに空調の電力を削減
- ・室内温度低下のために屋根にセラミックコーティング
- ・ウォーターチラー(エアコンの吸入口に水カーテン)
- ・生産セル毎の温度管理、照度管理
- ・節水活動

## OKIデータ 深セン工場(中国)

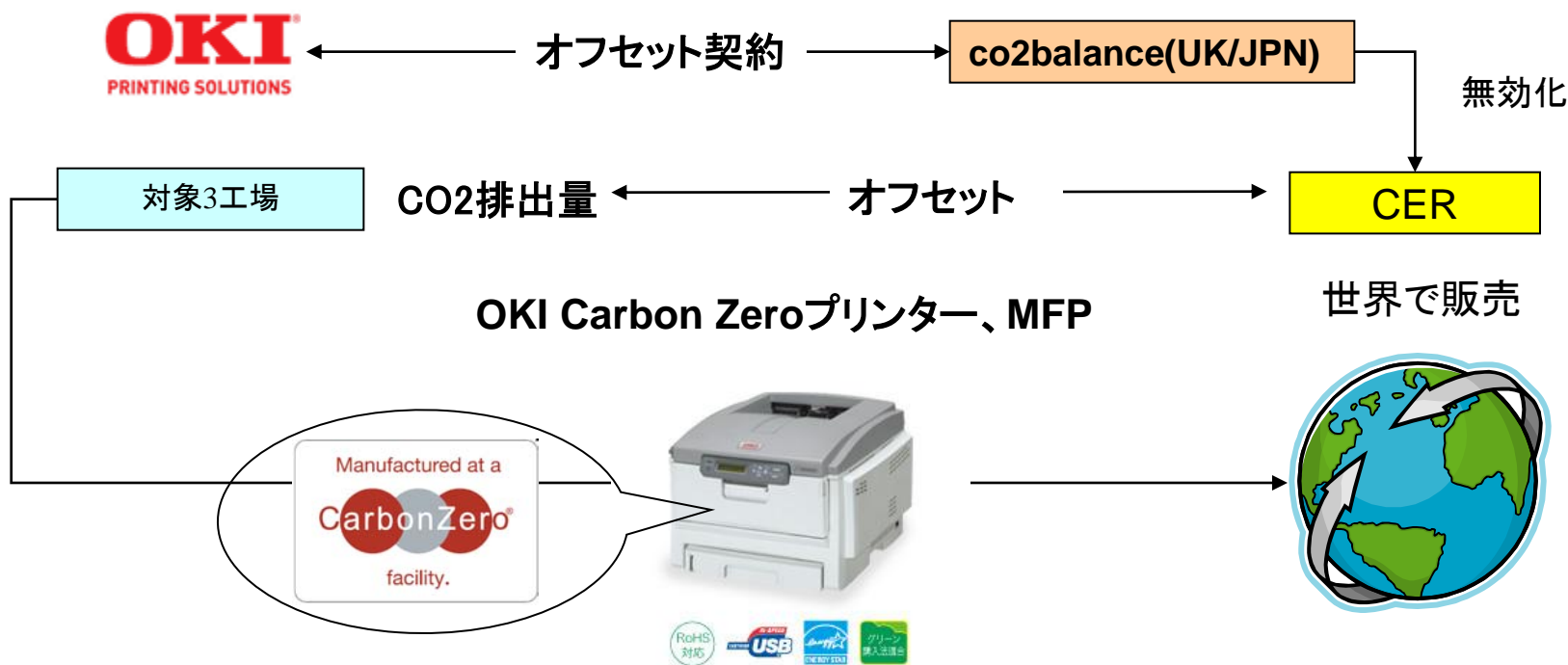
2007年度排出量: 4,764 tCO<sub>2</sub>



- ・空調温度、照明の最適化
- ・節水活動
- ・中国グリーンエネルギープロジェクトに参加

# カーボン・オフセット事業概要

## オフセット事業の仕組み



## オフセットの期間

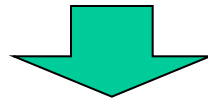
- ・2009年度下期から2012年度まで3年半の間、半期毎に継続的にオフセットを実施。
- ・本モデル事業では、2009年度下期分の6か月分をオフセットしています。

## カーボン・オフセット事業概要

# クレジットの調達と無効化処理

### 調達、無効化を予定していた排出権

1. 中国水力発電 Jinshi Hydro Power Project
2. インド風力発電 15MW Bundled Wind Power Project
3. ケニヤ高効率調理かまど Charcoal Improved Domestic Cook Stoves, Huruma, Kenya



プロバイダより契約に基づくクレジットのデリバリーがなされなかった為、以下のプロジェクトから発行された国連認証のCER※を代替取得し、現在無効化処理の手続き中です。

1) Xinjiang Mayitasi Wind Farm Project (中国風力発電プロジェクト)

クレジット種類: CER (国連登録番号: 2031)、数量: 3,650 トン

2) 6.75MW Small Scale Grid Connected “Wind Electricity Generation Project” by Tamil Nadu Newsprint and Papers Limited (インド風力発電プロジェクト)

クレジット種類: CER (国連登録番号: 1053)、数量: 1,966 トン

上記処理手続きが完了次第、プレスリリースにて無効化の報告をいたします。

今後のオフセットの取組み、排出権の無効化処理の状況は定期的にウェブサイトで公表してまいります。

※本CERが今回のオフセットのみに使用されることを別途契約を締結いたします。

# カーボン・オフセット事業概要 クレジットの無効化完了報告

全てのクレジットの無効化が  
完了した時点で右記内容の  
プレスリリースを発行予定です。

「CO2 排出量ゼロ工場」における排出権初年度分の無効化処理を完了

プリンティングソリューションの OKI データ (社長: 杉本晴重、本社: 東京都港区) は、このたび、2009 年 10 月 1 日より開始しているグローバルなカーボンオフセット活動「CO2 排出量ゼロ工場」の初年度分の CO2 排出量の無効化処理をおこない、オフセットを完了しました。本事業は、環境省カーボン・オフセットモデル事業に採択されています。

弊社は、2009 年 10 月より 2013 年 3 月までプリンタ・複合機を生産する全自社工場において、削減努力を行った上でどうしても排出される CO2 をカーボン・オフセットによりゼロとする「CO2 排出量ゼロ工場」の取組みを進めています。対象となる工場は、福島事業所、タイの OKI データマニュファクチャリング、中国の沖電気実業 (深圳) 有限公司プリンタ事業部の 3 工場です。

今回は、初年度 (2009 年 10 月 1 日～2010 年 3 月 31 日) の 3 工場からの CO2 排出量 5,615 トンの無効化処理をおこないオフセットを完了しました。当初、次の 3 案件 (中国の水力、インドの風力およびケニアの高効率かまど) をサティスファクトリーインターナショナルより取得し、オフセットする予定でしたが、同社により契約に基づくクレジットのデリバリーがなされなかったため※1、より信頼性の高い国連認証の発行済み CER を代替取得しオフセットすることといたしました。

下記 2 つの案件について、2010 年 3 月 26 日に日本政府の償却口座への移転申請を行いました。

① Xinjiang Mayitasi Wind Farm Project (排出権の種類: CER 3,650 トン)  
(2009 年 1 月 2 日に UNFCCC に登録済み、2010 年 1 月 21 日に発行済みの CER)

② 6.75 MW Small Scale Grid Connected "Wind Electricity Generation Project" by Tamil Nadu Newsprint and Papers Limited (排出権の種類: CER 1,966 トン)  
(2007 年 5 月 25 日に UNFCCC に登録済み、2007 年 7 月に発行済みの CER)

なお、ケニア等での高効率かまどプロジェクトについては、温室効果ガス削減以外のメリットが多く、また開発途上国の持続可能な開発に寄与することからプロジェクトの進捗を確認しながら支援していく予定です。

OKI データは、引続きカーボン・オフセットの取組みを進めると共に、排出権の無効化処理については半期毎にウェブサイト上で公表してまいります。

※1: 株式会社サティスファクトリーインターナショナルからのお知らせは下記リンクを参照  
<http://www.co2balance.co.jp/news/20100329.html>

## PRESS RELEASE

NO.100303



2010年3月29日

株式会社 OKI データ

東京都港区新橋 3-1-1

http://www.okidata.com

### 「CO2 排出量ゼロ工場」における排出権初年度分の無効化処理を完了

プリンティングソリューションの OKI データ (社長: 杉本晴重、本社: 東京都港区) は、このたび、2009 年 10 月 1 日より開始しているグローバルなカーボンオフセット活動「CO2 排出量ゼロ工場」の初年度分の CO2 排出量の無効化処理をおこない、オフセットを完了しました。本事業は、環境省カーボン・オフセットモデル事業に採択されています。

弊社は、2009 年 10 月より 2013 年 3 月までプリンタ・複合機を生産する全自社工場において、削減努力を行った上でどうしても排出される CO2 をカーボン・オフセットによりゼロとする「CO2 排出量ゼロ工場」の取組みを進めています。対象となる工場は、福島事業所、タイの OKI データマニュファクチャリング、中国の沖電気実業 (深圳) 有限公司プリンタ事業部の 3 工場です。

今回は、初年度 (2009 年 10 月 1 日～2010 年 3 月 31 日) の 3 工場からの CO2 排出量 5,615 トンの無効化処理をおこないオフセットを完了しました。当初、次の 3 案件 (中国の水力、インドの風力およびケニアの高効率かまど) をサティスファクトリーインターナショナルより取得し、オフセットする予定でしたが、同社により契約に基づくクレジットのデリバリーがなされなかったため※1、より信頼性の高い国連認証の発行済み CER を代替取得しオフセットすることといたしました。

下記 2 つの案件について、2010 年 3 月 26 日に日本政府の償却口座への移転申請を行いました。

① Xinjiang Mayitasi Wind Farm Project (排出権の種類: CER 3,650 トン)  
(2009 年 1 月 2 日に UNFCCC に登録済み、2010 年 1 月 21 日に発行済みの CER)

② 6.75 MW Small Scale Grid Connected "Wind Electricity Generation Project" by Tamil Nadu Newsprint and Papers Limited (排出権の種類: CER 1,966 トン)  
(2007 年 5 月 25 日に UNFCCC に登録済み、2007 年 7 月に発行済みの CER)

なお、ケニア等での高効率かまどプロジェクトについては、温室効果ガス削減以外のメリットが多く、また開発途上国の持続可能な開発に寄与することからプロジェクトの進捗を確認しながら支援していく予定です。

OKI データは、引続きカーボン・オフセットの取組みを進めると共に、排出権の無効化処理については半期毎にウェブサイト上で公表してまいります。

※1: 株式会社サティスファクトリーインターナショナルからのお知らせは下記リンクを参照  
<http://www.co2balance.co.jp/news/20100329.html>

※株式会社サティスファクトリーインターナショナルは、環境省「OKI データ」として、  
※その他、記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

— この件に関する報道機関からのお問い合わせ先 —  
OKI データ 広報部 電話: 03-6440-0164

# カーボンオフセット取組み 情報開示

## 1. 社員への情報展開

- ・カーボンオフセットロゴの表示(工場看板等)
- ・環境教育(全員対象)での展開

## 2. 排出量削減目標のステークホルダーへの情報開示

- ・「OKIデータ感謝の集い」(2009/10/1)
- ・プレスリリース配信
- ・OKIデータHPに「カーボンゼロ工場実現」ページ掲載
- ・カタログ・製品に「カーボンゼロロゴ」記載

## 3. エコプロダクツ2009出展

- ・カーボンオフセットによる「CarbonZero工場」取組み説明
- ・カーボンオフセット仕組み説明

カーボンオフセット取組み 情報開示例①

## 工場看板表示

カーボンオフセットにより

# 「CO2排出量ゼロ工場」を実現する

～ 全事業活動のCO2排出量を35%カーボン・オフセット ～

### ●福島事業所(日本)



### ●沖電気実業有限公司 プリンタ事業部(中国)

A graphic with a red border containing the 'CarbonZero' logo (three overlapping circles: red, grey, red) and the text 'Manufacturing Facility.' Below it, the Chinese characters 'CO2 零 排放工厂' are displayed, followed by the text '日本国环境省 碳补偿样板工程选定企业'.



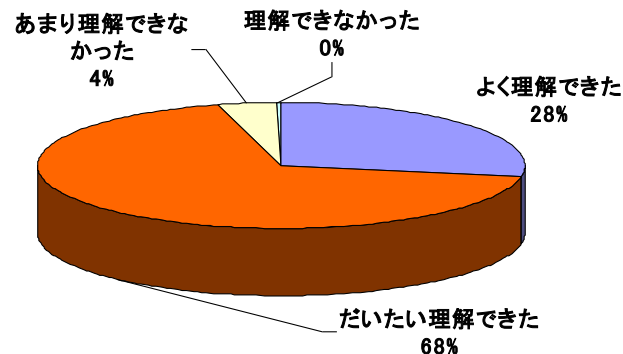
# カーボンオフセット取組み 情報開示例③ エコプロダクツ2009出展

会期・会場：2009/12/10(木)～12/12(土) 東京ビッグサイト

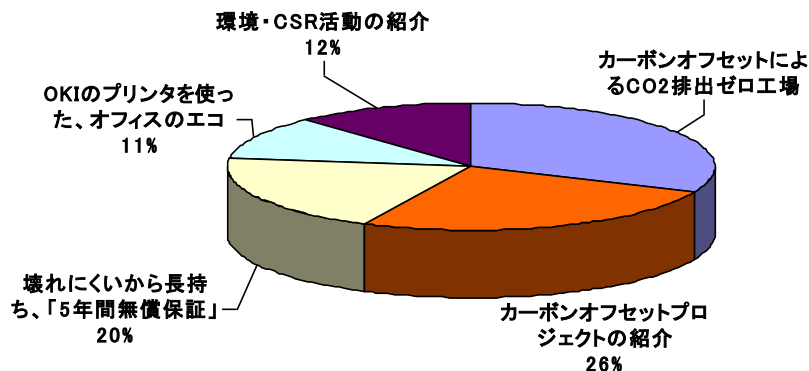
出展規模：721社・団体 / 1,735小間 来場者：182,510人



## 理解度



## 興味



今後の予定

# 高効率調理かまどプロジェクトの継続

発展途上国の生活向上  
とCO2削減

従来のかまど

高効率調理かまど

発展途上国

(ケニア・インド等)

家中、裸火で使用

一酸化炭素中毒

資源(薪)の枯渇

重労働

四方を土壁で囲い、  
燃焼効率を高めた  
「かまど」

中毒事故の減少  
資源(薪)の効率化  
労働時間の短縮

カーボン・オフセット  
(排出権購入)

今回のオフセットのために150台のかまどを設置しました。プロジェクトの手続き上、排出権発行～無効化が間に合いませんでしたが、将来のクレジットの発行に合わせて、今後のオフセットに使用していきます。

<かまど1台=車1台>

「かまど」1台につき、年間約1.6トン(普通自動車の年間の排出量)のCO2を削減。



=



# 事業総括

## 良かった点

- オフセット事業活動を通し、従業員の環境(CO2削減)への意識が向上した。
- ステークホルダーに対しOKIデータの環境活動の認知度が上がった。
- CO2排出削減のみならず開発途上国の環境改善貢献への足掛りができた。

## 今後の課題

- タイムリーな排出量データ収集と内容の最適化
  - ⇒ データの内容を見ながら簡素化、最適化を図る。
- CO2排出量削減
  - ⇒ オフセットしたことに安心することなく、地道な削減活動を継続していく。  
グリーン電力の使用等も戦略的に検討する。
- カーボンオフセット事業の継続
  - ⇒ 生産工場の排出のみならず製品(消耗品)でのオフセットも検討していく。
  - ⇒ 営業活動等を通してカーボンオフセットの普及に努める。
- 排出権の無効化期限の契約締結
  - ⇒ 今回の無効化手続きミスを教訓として、プロバイダとの契約書を見直す。

OKIデータは、今後も意欲的な取組みを通じて、地球温暖化防止の推進／啓蒙を進めていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。